

第一学期がスタート



朝の登校



先生たちの紹介



放送をしっかりと聞く3年生



福井泰佑先生から「生活の話」

始業式・学校長の話

コロナウィルス感染症という病気が広がって、しばらくみんなに会えなくなってしまったのではと、はらはらときどきしていたけれど、こうやってみんなに会えて本当にうれしい。

しかし、また来週からみんなに会えなくなってしまう。そうすると、悲しい気持ちになったり寂しい気持ちになったりする。そういう気持ちを幸せな気持ちに変えるはどうしたらいいか。二つの方法がある。

一つは、**病気にかからないこと**。どんなことをしたら病気にかからないかはみんな知っている。

もう一つは、やりたくてもできない、ここはやれるようになるまで**我慢すること**。

また、みんなと会えたら下のような話をしよう。

みんなは、「これから勉強を頑張ろう。」とか、「1年生に優しい2年生になろう。」、あるいは「大会やコンクールでいい成績をとりたい。」と思っているかも知れない。何かを始めるときは、自分の思いや願いをめあてにすることが大切。みんなの心の中には、「友だちと会えてうれしい。」という気持ちがきつとあるはず。そうなんだ。友だちといると楽しい。みんなは、誰も「楽しいクラス」、「楽しい学校」にしたいと思っている。そんなクラスにするには、二つのがんばりが必要。一つ目は、**自分のめあてに向かって一日一日がんばること**。二つ目は、**友だちや先生と力を合わせて生活すること**。

さあ、一年が始まったよ。「チーム南小」が楽しいチームになるようにみんなであわせて。

特集 『チーム南小』①

栃木市立南小学校は、昭和50年に校舎建設が始まりました。校舎を建設した場所は、関東でも有数の米どころだった田んぼでした。校舎建設の敷地として提供して下さった地域の方々は、「米と同じように関東でも一番の子ども達になれ。」との願いをこめて、「関第一」を合い言葉にしました。昭和52年に校舎が完成し開校を迎えました。「豊かな大地に夢育む」という思いをこめて、「健やかな心身の育成」と「一人一人が輝く学校づくり」が本校の教育目標になりました。

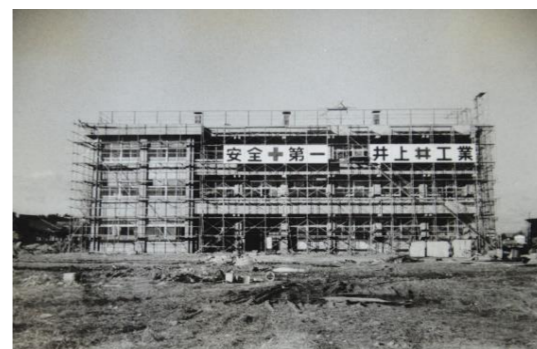
その「建学の精神」が、脈々と今に受け継がれています。

「建学の精神」を現実のものにするには、目指す理想像をもつことが大切です。



校長室に掲げてある「関第一」の額

めざす児童像	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに向かって自主的に学習することができる児童 ・友達の立場がわかり、誰とでも仲良くすることができる児童 ・元気に活動し、何事にも最後まで頑張ることができる児童
めざす家庭像	<ul style="list-style-type: none"> ・親子のふれあいを深める家庭 ・お互いに感動の心がもてる家庭 ・明るいあいさつができる家庭 ・地域社会の一員として協力できる家庭 ・*「ホームランタイム」を実践する家庭
めざす教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚に優れ、誠意と情熱と使命感をもち信頼される教師 ・指導力(授業力)向上のために研究し続ける教師 ・児童と共に学び伸びる教師 ・特別支援教育の視点に立ち児童に寄り添い ニーズに合わせた支援ができる教師 ・社会人としての責任を自覚し社会の模範となる教師
めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい学校…授業がわかりやすく友と学びあえる学校 伸びる学校…目標やめあてがあり努力が認められる学校 美しい学校…整理整頓され歌声があり礼儀正しい学校



*「ホームランタイム」

栃木南中学校と栃木南中学校区の二つの小学校(栃木第四小学校と南小学校)の、全ての学校で取り組んでいる「家庭学習」のニックネームです。野球のホームランと「勉強する」という英語「ラーン」(learn)をかけた造語です。